

インドネシア・バリクパパン市における国営肥料会社と連携した堆肥化事業

～環境省「我が国循環産業海外展開事業化促進業務（実現可能性調査）」～

1 事業の概要

インドネシア農業省は、化学肥料や農薬の過剰投入による生態系の破壊や農地の土壌劣化を懸念しており、土質の改良を促すため、有機堆肥の増産と利用拡大を促進しています。

インドネシア国営肥料会社（以下、国営肥料会社）は、この方針を受けて、有機肥料の増産を検討しており、同国バリクパパン市と「有機肥料製造を目的とした廃棄物処理に関する覚書」を2016年に締結しています。

㈱西原商事は、2012年から同国スラバヤ市において、リサイクル型中間処理施設及びコンポストセンターの設置・運営事業を行ってきており、本事業ではそのノウハウを活かして、バリクパパン市において、市内の事業系有機廃棄物から、国営肥料会社と連携して有機堆肥のテスト生産を行うとともに、バリクパパン市内にあるその他のコンポストセンターの改善支援を行います。このことにより、バリクパパン市全体の廃棄物の削減とリサイクル推進、インドネシア国全体の有機堆肥の増産・利用拡大に貢献することを目指しています。

- 2 受注企業 : 株式会社西原商事
- 3 共同実施者 : 公益財団法人地球環境戦略研究機関、高倉環境研究所、北九州市
- 4 事業費概算額 : 約1,200万円
- 5 実施期間 : 平成30年8月～平成31年3月
- 6 現地協力機関 : 国営肥料会社、バリクパパン市



【バリクパパン市営コンポストセンター】